

# 校内研修計画

甲州市立松里小学校

## 1 学校課題

松里小学校は、甲州市の北西部に位置し、自然にも恵まれ多くの文化財や伝統行事が残る地域にある。児童数は133人（平成25年4月現在）で、学級数は7学級と小規模校である。児童は学年の枠を超えて仲がよい。優しく素直で、与えられた課題や学習に一生懸命取り組むことができる児童が多く、集団の中で個々が生かされ認めあえる機会も多い。

本校では、自分で課題を見付け自分の力で解決していくことに焦点を当て、主体的な学びを育てる指導・評価の研究を深めてきた。その結果、自ら課題を見付け、友だちの考え方を取り入れながらいろいろな考え方で課題を解決しようとする姿や楽しみながら考え工夫して活動に取り組む姿が見られるようになってきた。しかし、自分の考えを主張する力、新しいことに挑戦しようとする意欲、自分の考えを他に伝えたり形にしたりする表現力、学習したことを応用する力などに課題が見られた。昨年度、「話すこと・聞くこと」を中心に研究・実践を進め、子ども達の中に変化や進歩を感じるものの、伝え合う力にはまだ個人差が大きい。

## 2 研究主題

「子どもたち一人一人の伝え合う力を高める研究」  
～「話すこと・聞くこと」の活動を通して～

## 3 主題設定の理由

本校の児童は、これまでの図画工作科における取り組み（平成20～22年度・学力の把握に関する研究指定校【図画工作科】）から、図画工作科においては自分の思いを膨らませたり、互いに感じたことを伝えあったりする力が伸びてきていると感じられる。しかし、他の教科や学校生活の中では十分ではない部分も見受けられた。そこで、昨年度は図画工作科で培ってきた力を他教科にも広げ、伝え合う力の向上を実現していきたいと考え、国語科の「話すこと・聞くこと」を中心に研究・実践を進めた。

いくつかの言語環境を整える取り組みにより、子どもたちの意識も変化しつつあり、「話すこと・聞くこと」の進歩を感じる場面も増えた。しかし、意識調査などの結果や実際の「話すこと・聞くこと」の活動の様子をみると、個人差が大きいことが伺える。そこで、今年度は国語科の「話すこと・聞くこと」に限らず、本校児童がいろいろな「話すこと・聞くこと」の場面で進んで活動ができるような、また、「話すこと・聞くこと」が好きになるような取り組みを模索し、子どもたち一人一人の伝え合う力の向上を目指していきたいと考えた。

また、伝え合う力の向上は、甲州市で取り組んでいる甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの各取り組みともリンクさせることができる。あいさつや学習規律の定着は、伝え合う力の根本を担う物であり、授業や様々な活動の中に「話すこと・聞くこと」を効果的に位置づけ、積極的に取り組むことは、学力を育成していくための授業作りに欠かせないと思われる。

## 4 研究の具体的内容と方法

### (1) 内容

- 「話すこと・聞くこと」の基礎、「豊かな表現力（話すこと）」についての理論研究
- 「話すこと・聞くこと」について、児童の意識調査・教師の見取り・各種テストの分析
- 「話すこと・聞くこと」を身につけさせる指導を工夫した授業や活動実践
- 「話すこと・聞くこと」の意欲を高める場の工夫や言語環境の整備

(2) 方法

- 「話すこと・聞くこと」の基礎、「豊かな表現力（話すこと）」についての学習会を行い、共通理解を図る。
- 児童の意識調査や教師の見取りなどから課題を明らかにすると共に、子どもの変容をとらえて、次につなげていく。
- 教師が力量を高めるための具体的な取り組みを志向し、授業や活動実践を通して指導力を高めていく。
- 学校生活のあらゆる場面を通して「話すこと・聞くこと」の向上を支えていけるような、環境作りに取り組んでいく。

## 年 間 校 内 研 修 計 画

研究主任 小河 真由美

研究テーマ	教科領域	内 容	担当者	学年	授業の時期	T・C要請
子どもたち一人一人の伝え合う力を高める研究	全教科・領域	本年度の研究の方向性・研究主題・研究の見通し・具体的な研究内容・研究組織・年間計画	研究主任		4・5月	
		児童の意識調査の内容検討 「話すこと・聞くこと」の意欲を高める言語環境の整備に向けての検討	研究主任 全員	全学年	5月	
		「話すこと・聞くこと」の基礎・「豊かな表現力（話すこと）」についての学習会	研究主任		6月	○
		児童の意識調査・教師の見取りの実施・考察 「話すこと・聞くこと」の意欲を高める言語環境の整備の実践	研究主任 全員	全学年	6月～	
		「話すこと・聞くこと」の授業に向けての取り組み	全員	全学年	7月～ 11月中心	
		教育課程説明会還流報告	各担当		8月	
		授業づくり 授業案検討	授業者 授業者	未定	8月～ 10月	
		授業研究	授業者	未定	11月	○
		児童の意識調査・教師の見取りの実施・考察（2回目）	研究主任 全員	全学年	12月	
		今年度の成果と課題 研究紀要づくり	研究主任 全員		1・2月	
		来年度に向けて	研究主任		3月	